

令和6年度 第4回子ども・子育て会議 議事録

令和7年2月13日（木）午前10時～12時
富士見町役場 3階 301 会議室

1. 開会

〈事務局〉これより第4回子ども・子育て会議を始めます。

パブリックコメントを実施しましたところ、非常にたくさんのご意見をいただきました。本日はパブリックコメントを受けての計画の修正箇所確認いただき、成案としての計画をご審議いただき思います。

2. あいさつ

・教育長

第4回子ども・子育て会議ということで、今まで練り上げてきていただいたものがパブリックコメントを経て、今回案という形で皆さんにご審議いただけることを大変ありがたく思います。

・子ども課長

本日こども計画のいよいよ最終の会議になっております。パブリックコメントについても、反映されているのかまた確認をしていただいて、成案を目指すということになっております。

またこの会議の後、計画ができて終わりではございませんので、その実行と進捗、そしてまた計画の修正もどのようにしていくのか。その辺についてもまた皆様と一緒に考えていければと思っております。

3. 協議事項

(1) パブリックコメントについて

〈事務局〉パブリックコメントは全部で20件の意見提出がありました。その中で、複数の質問を提出された方や、同様の意見や質問が出た方もおりましたので、それらを施策ごとにまとめさせていただいたところ、全部で60件の意見・質問となりました。回答と併せて内容をご確認お願いいたします。

また、パブリックコメントを受けてこども計画に反映・修正した部分について説明いたします。（該当箇所について説明）

パブリックコメントの回答については、計画とともにHPにて公表いたします。

(2) 富士見町こども計画（案）について

〈事務局〉まず、計画に今回新たに追加しました第6章と資料編について説明します。（追加内容について説明）

事前に皆さんの方には資料を送って確認いただいておりますので、もしご意見等ありましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。

〈各委員からの意見〉

- ・ 資料編、まちトークの対象が誤っているため修正
- ・ 資料編、本日の会議の日時が誤っているため修正
- ・ 子育てひろばAiAiの量の見込みについて、人日という単位がよく分からない。月の人数見込みだと思うが、年の見込みにも読み取れる。同じく病児・病後児保育も分かりづらさを感じるので、表現を統一してほしい。
- ・ 51 ページ、「集団保育が難しい障がい児」という表現を変えたほうがいい。
- ・ 41 ページ、主な取り組みのスポーツ少年団の育成が、誰の育成を指しているのかわからない。
- ・ 今回の計画では町がやることを中心に書かれているが、アンケートの結果やパブリックコメントとして提出されなかったことでも、やる気のある方がいるので、住民協働型でできることを考えていくとより充実すると思う。
- ・ 第2章の子どもの「放課後の過ごしませ方」という表現を見直してほしい。
- ・ 79 ページ、児童クラブの新設について、令和7年度4月から利用できないが、令和6年度に増設という表現は正しいのか。
- ・ 子ども・若者の意見を表明する場を設けることも大事だが、実際に検討する場に若者を入れていくということができるといい。
- ・ 数値目標について人数と回数が目標としてある。再度検討を。

〈事務局〉ご指摘いただいた点について修正または検討させていただきます。また、パブリックコメントについて継続して議論が必要なものもありますので、必要に応じて計画の変更もしていきたいと思っていますところでは。

では、ご指摘いただいた点を修正したものについて、委員の皆さんに郵送しまして、最終の確認としたいと思います。短期間になるかと思いますが、その際にさらに修正・ご意見があればご連絡をいただきまして、再度修正したのち、富士見町こども計画の成案とさせていただきたいと思います。異議の方はいらっしゃいますでしょうか。

→異議なし（全員一致で可決）

〈事務局〉子ども計画ですが、策定期間が5年になりますので、議会に報告する必要があります。3月14日の全員議会の全員協議会に報告しその後、ホームページで公表することとさせていただきます。

また、パブリックコメント等を受けて継続して議論している事項もありますので、来年度以降も計画の変更など柔軟に対応して、策定で終わることなく、計画のブラッシュアップをしていきたいと思っておりますので、また皆様のご協力もお願いいたします。

(3) 来年度の予算について（新規事業について）

〈事務局〉

- ・ 保育支援システム導入事業
- ・ 中間教室設置事業（フリースクール等へ通うための交通費について）
- ・ 児童クラブ事業（富士見小児童クラブ）
- ・ 男女共同参画推進事業
（女性を対象とした在宅ワークスキル・ITスキルのリスキング講座の開催）

(4) 情報交換

今年度の活動、現在の子育て事業や環境について等を各委員から報告

- ・ 山口委員（ファミリー・サポート支援会員）

支援会員が少し増えたのか、依頼が殺到することはなくなったように思う。

ありがたいこと。今後もできる限りで力になっていきたい。

- ・ 五味委員（子育て世帯代表）

自分の子どもも中高生になった。委員をやっている、まだまだ知らない事業があり、他の親たちと話していてもせっかくの事業が知られていないことが多いと思う。広報等頑張ってほしい。

- ・ 名取委員（NPO 法人たくさんの手代表）

子育て世代が大きく変化している。「こどもまんなか」を大事にしつつ、時代の流れもあるので、うまくバランスをとって協力いきたい。

- ・ 名取委員（教育委員）

自分が子育てしていた時代と全然違う。今は共働きで、祖父母の協力もなかなか得られない人たちも多いので、子育て環境を整えていくことが大切だと思う。

- ・ 石井委員（児童クラブ主任）

児童クラブの増設は、現場にとってもありがたい。放課後の過ごし方・居場所としての役割がとても大切になっているので、今後も協力していきたい

- ・中島委員（NP0 法人こどもの未来を考える会代表）

ユースセンターまるいちも居場所としてこれまで以上に連携していきたい。現在もユースワーカーが在駐しているが、子どもたちへのサポート力を高めるためにも役場と協力していけたら。「こどもまんなか」を考えた時に、個人でも団体でもいろんなことをやりたいと考えてくれる人がいるので、そういった方たち同士がつながれる機会があるといいと思う。

- ・五味委員（子ども会育成会）

育成会長は昨年で引き継いだので、次の任期ではまた新しい人に託したい。子ども・子育て会議で意見交換する中で、困っていることや、その解決策など共有していけると思うので、会議の進め方をもっと話しやすい雰囲気にするといいと思う。

- ・下家委員（社会福祉協議会）

法人の理念としてマイナス1歳（妊婦）～100歳まで寄り添っていきたい。

“いつでもフードドライブ”もやっていますので、皆さんにも知ってほしい。今は支える・支えられるといった立場でなく、自分に何ができるのか住民が主体的に考えていく必要がある。

- ・小林委員（園長会長）

保育園は環境を充実してもらえていて、保護者からも喜びの声がある。今は保護者の不安感が強い方が多いので、いかに不安に寄り添えるか日々考えながら対応しているが、町でもこんな支援があるよ、と伝えていきたい。

4. 閉会

〈事務局〉子育て環境の変化の中でもいろんな子育て支援をしていただいていることを改めて感じます。引き続き皆さんと子育て環境の充実を図ってまいりたいと思います。ご協力をお願いします。

では、修正したこども計画と令和7年度の予算については、後日委員の皆さんに送付いたしますので、ご確認お願いいたします。計画に関しては議会への説明後にホームページでの公表とさせていただきます。

それではこれで本日の会議を終了させていただきます。